

新年礼拝

Glory to God

学院長・宗教総主事 佐々木 哲夫

**主を畏れることは知恵の初め
聖なる方を知ることは分別の初め。**

箴言 9 章 10 節

第二の掟は、これである。『隣人を自分のように愛しなさい。』この二つにまさる掟はほかにない。」

マルコによる福音書 12 章 31 節

神を畏れ、その栄光をたたえなさい。

ヨハネ黙示録 14 章 7 節 a

*

2024 年は宮城学院創立 138 年目の年です。今年もよろしく願いいたします。宮城学院存立の理念を短く表現したものがスクール・モットーです。1559 年にスイスのジュネーブに神学と哲学を修めるジュネーブ学院が創設されました。宗教改革者カルヴァンが起草した学校で、初年度に各国から正規の学生が九百人ほど入学したそうです。学校の入口に「主を畏るるは知恵の始めなり」が刻まれていました。カルヴァンは「主を畏れる」について解説し、「主を恐れる恐れであるが、これがすべての聖徒たちにそなわるものであることは、聖書のいたるところに証言されていて、あるところでは『知恵』そのものであると言われている」と記しています。本日読みました箴言 9 章 10 節に「主を畏れることは知恵の初め」と記されています。宮城学院のスクール・モットーです。新約聖書の「隣人を自分のよう愛しなさい」も、宮城学院のスクール・モットーです。さらにもう一つ宮城学院が大事にしている聖句があります。Glory to God です。短い時間ですが、聖句「Glory to God」に思いを馳せたいと思います。

* *

「Glory to God」は、第一校舎の講堂正面に掲げられていた聖句です。第一校舎とは、火災で失われた創立時の校舎を 1904 年に再建した校舎のことです。1905 年の外国伝道局長による報告では、第一校舎の講堂が a large chapel と紹介されています。講堂で聖書が読まれ賛美歌が歌われ、様々式典が執り行われた、宮城学院の中枢の場所でした。その正面に刻まれていたのが Glory to God です。

Glory to God は、天の大軍によって賛美された言葉であり、また、ヨハネの黙示録の天使が「神を畏れ、その栄光をたたえなさい」と命じた言葉です。さらには、カルヴァン神学の要約である 5 つのソラの一つのソリ・デオ・グロリア (Soli Deo gloria) 「神の栄光のみ」〔神にのみ栄光を〕や、ヨハンセ・バステアン・バッハのほとんどの自筆譜の最

後に記された「SDG」(Soli Deo gloria)の三文字を想起させます。

おそらく、「合衆国ドイツ改革派教会の信仰を象徴して Glory to God の言葉を刻んだもの」だと思います。今日 Glory to God は『宮城学院教職員礼拝説教集』の表紙を飾り、宮城学院広報誌の誌名『Glory to God』になっています。また、旧制二高の教授を務め大正年間に宮城女学校専攻科で英文学を講じた土井晚翠作詞の宮城学院校歌の冒頭句「天にみさかえ、地に平和…」と共鳴し、宮城学院寄付行為前文「神を畏れ敬い、自由かつ謙虚に真理を探究し、隣人愛に立ってすべての人の人格を尊重し、人類の福祉と世界の平和に貢献する女性を育成する」との宮城学院「建学の精神」に通底している言葉です。

「神の栄光」とは、被造物が創造主に対して捧げる畏敬の念、神の威光や神の義など神の属性を指し、神の臨在を表す言葉として用いられております。栄光は、イエス・キリストに引き継がれ、教会におけるキリストの臨在によって地に満ちていると聖書に記されています。

預言者サムエルの時代に、一大事件が起きたことが旧約聖書に記されております。神の臨在である十戒の板が入った契約の箱、いわゆるアークと呼ばれる箱が敵のペリシテ人に奪われる事件です。契約の箱は、出エジプト以来、お神輿のように担ぎ運ばれ、絶えず神がイスラエルと共にいることをあらわすものでした。その契約の箱が敵ペリシテとの戦いのときにペリシテに奪われたのです。

神の箱が奪われた報告を受けた大祭司エリは驚愕し、城門に据えられていた席から仰向けに倒れ首の骨を折って死んでしまいます。しゅと と夫の戦死を聞いた息子の妻は、ちょうど出産したばかりの男の子にイカボドとの名前をつけました。その意味は、「栄光が失われた」でした。サムエル記に記されているイカボドという言葉は、「栄光がイスラエルから去った」「神が自分たちから離れてしまった」ことを意味する言葉でした(サムエル記 4 章 21 節)。

言うならばイカボドの反対語が Glory to God です。預言者イザヤやマタイ福音書の記者は、生まれる男の子イエスキリストを「インマヌエル」と呼びました。「インマヌエル」は「神共にいます」の意味です。イカボドではありません。天の大軍は Glory to God と賛美し、黙示録は「神を畏れ、その栄光をたたえなさい」と命じています。Glory to God は、宮城学院が大切にしてきた聖句です。新しい年も Glory to God の思いをもって歩みたいと願います。

(2024 年 1 月 4 日)